

鹿島大祭が行われました

3月3日、大漁祈願と海上安全を祈る鹿島大祭が佐賀地域で行われました。

今年も、町内の若者やインドネシアからの漁業研修生、小学校5・6年生たちで担がれる、男みこし・女みこし・子どもみこしの3体が鼻高（天狗）に引きつられ、獅子頭や鼓踊り陣らとともに港周辺の地区をにぎやかに練り歩きました。

横浜保育所運動場と佐賀新港で奉納し、鹿島周辺では漁船パレードも行われました。



上川口小学校 キルト作品が潮風大賞を受賞 賞金10万円の使い道もみんなの手「く」

昨年開催された潮風のキルト展で、上川口小学校2年生（現在3年生）が出展した作品が、みごと最優秀の潮風大賞に選ばれました。

出展した作品は、テーマが『自然』ということで、身近にある海にテーマを絞り、9人の児童それぞれが考えた図柄のキルトをつなぎ合わせたもので、6月下旬から下準備に取り組み、保護者や地域住民の方々に何度も学校に向いていただき協力してもらいました。

「児童とたくさんの方々の合作作品です。審査員の小林恵さんからも、アメリカキルトの精神であるという「みんなが集まって協力する」「ことを高く評価していただきました」と担任の上岡先生。

潮風大賞の10万円の賞金は児童全員で使い道を話し合い、今まで学校になかった桜の木を記念植樹、そしてみんなが使える遊具やベンチの設置に決定しました。

その遊具も鉄ではなく木の遊具をとということになり、木



材の調達から設置にかかるまで、再び保護者やその働き先の方、地域の方々など、たくさんの方の力を借りてできました。

最後には、みんなで「本当にも何もかもが手づくりになったね」と話したことだそうです。子どもたちも、みんな考え、作業したことが非常に心に残っているようで「皮はぎは大変やったけど、楽しかった」「早く遊びたい」「早くみんなに使ってもらいたい」と満足の笑みで話をしてくれました。



カツオと鯉のぼり川渡しフェスティバル

カツオのぼり・鯉のぼりの川渡しで毎年多くの見物人を呼び寄せている坂折地区が、「カツオと鯉のぼり川渡しフェスティバル」を5月5日（月）に開催します。

恒例のカツオ・鯉のぼりの川渡しに加え、いの町で習った紙の鯉のぼりを土手や水中に泳がし、会場では楽しい催しがいっぱいです！

実行委員会よりコメント

「今回初めての試みということで、試行錯誤を繰り返して進めてきました。地域を元気に、伊与木川流域を活性化させようと一生懸命努力しています。子どもの日ですので、子どもたちに喜ばれる企画をいっばい考えました。たくさんの方のご来場をお待ちしています」



通行止め区域

中角奈路線・中角藤縄線

※お車でお越しの方は、十分な駐車スペースを構えていますので、警備員の誘導に従って運転してください。事故防止のため、ご理解とご協力をよろしくお願いします。

お問い合わせ

カツオと鯉のぼり川渡しフェスティバル実行委員会（浜口）

☎ 55-2112

カツオと鯉のぼり川渡しフェスティバル

5月5日（月）子どもの日

午前 10:00	開場 開会挨拶 紙の鯉のぼりプレゼント（先着100名） パントマイム
午前 11:30	魚めし販売・初カツオのワラ焼き実演販売
午後 1:00	おはなし玉手箱（紙芝居）
午後 2:00	閉会行事・もち投げ

